皇帝御巡狩御警衛

關東廳下署長會議

引續き機構改革問題も審議

(-13)

たり、八月十三日漸く騰湿を 計し放免せり、之れより先八 月十日現地より脱出し勝れる 岩錫弘、金鏞萬雨氏の急報に 接し十一日学前七時半署氏を 安順養、朴英殷、金石松、要 安順養、朴英殷、金石松、要 安順養、朴英殷、金石松、要 安順養、朴英殷、金石松、要 長宅に到りし處六七十名の暴 長宅に到りし處六七十名の暴

被害者は

元氣を回復

病院は見舞客

各殺到

別を改正する、新

西に移動

時三 枚容し一行は騰京し蒲鎌病院 水容中の酒井操縦士を初め 大モ 搭乗者志岐銀新京出張所建築 き急 局主任荒井敬策、滿鏡々道建設 が 落原因が操縦士の過失かはた の場 また不可抗力であるかを取調 地検 べることになつたが三者がい れた づれも重傷なので取割べ延期 であることとなったが三者がい することとなったが三者がいます。

満洲里在住の

最近激增

世 警察の更迭改善を断行せず兵 他 医生成の無行に任せて顧みる を 被りたる危害は强盗、物盗、 物 と統制無き兵匪と誠意無き官 と と統制無き兵匪と誠意無き官 と と統制無き兵匪と誠意無き官 して愛生するに至れり

北在留朝鮮 祖國の同胞に檄す」の檄文を送り 品

一の再資山事件と断ず

九月六日槐領事館調査職は天 地に至らざりしも磨殺の事實と 本件の全貌は全く明瞭となるに至れり、此悲惨事を知り で選供せる天津在園詞胞は北 高の許可を得る能は子九月十 二日代表會の名儀を以て開催 を許され参集する者二十余名 (一)選安磨殺事件陰時委員 を許され参集する者二十余名 の監刑及ひ支那當局の處罰、

はまさして対対に発さるを担かる。 者の一人金石松氏と同行天津 に殴れるは二十一日なりき金 に殴れるは二十一日なりき金 ・に殴れるは二十一日なりき金 ・に殴れるは二十一日なりき金 ・に殴れるは二十一日なりき金 ・に殴れるは二十一日なりき金 ・に殴れるは二十一日なりき金 ・に殴れるは二十一日なりき金 をしたりを強慢事館の調査隊は入 をしめ老者輔女のみを残し之 をしめ老者輔女のみを残し之 をして「高麗の土匪来り をして「高麗の土匪来り をして「高麗の土匪来り をして「高麗の土匪来り をして「高麗の土匪来り て始めて遷安縣の虐殺事件と 地新聞の報道によりて事件を 知れる天津鮮人會長張世萬同 神理事實體沫氏は十九日農洲 に赴きしも現地に到るを担ず に赴きしも現地に到るを担ず 書解決を當局に請願(四)追悼書解決を當局に請願(四)追悼書解決を當局に請願(四)追悼書解決を當局に請願(四)追悼書解決を當局に請願(四)追悼書解決を當局に請願(四)追悼書解決を當局に該行に移せり、然る處幾何も無く邦字新聞天口間滿に事件の解決を告げた。 「世報、大公報等により「事件性報、大公報等により「事件性報、大公報等により「事件性報、大公報等により「事件性報、大公報等により「事件性報、大公報等により「事件性報、大公報等により「事件性報、大公報等により「事件性報、大公報等により「事件性報、大公報等により「事件性報、大公報等により「事件性報、大公報等により「事件性報、大公報等により「事件性報、大公報等により「事件性報、大公報等により「事件」と 旅客機の墜落は

不可抗

操縦士の過失か

床訊問は重傷で延期

7、最少限度に於て悪虐極り、最少限度に於て悪鬼を指しつつある確認たり、大きしき文書に依る解來の保証がなる賠償の金員を支出する事に依り取け形式的反古紙便がなる賠償の金員を支出する。 更に今日倫解日排日の耐い、更に今日倫解日排日の耐い。

機械煖房取扱方

講話會開催

新京ダイヤ街

へ永美町二つ

溴連大

オリエントフィ

电話三三九一番

二〇(プロニー)―

大〇鍵

五三

御使用順ひます

乾寫眞館販賣部

節

店本

ぶ

5

3

り り先づ市内小學校現教員百三 (本のた、右に就き市教育科 では語る 市内小學校の教員は原則と では語る

町會館で機械煖房取扱方に

いての講話を聴くこ

学教員檢定

月中旬に行ふ

数員委将も無く依然としての小學教員中約四分の一は らないと思つてゐたが、今ためにも淘汰しなければな 雷式な教育方法を脱せる **負としての實力を認めら** 新京地方事務所住宅係では採 擬期も押し追つて来たので、 提展の継濟的焚き方、取はそ の他取扱方につき聞きたいと いふ方々のため満端本祉機械 に、八日午後一時半から白菊

足らざるを知れり、一は巳に鮮人代表質のい

を書國一致の絕大なる際 と書人同盟同志の機束を

華北在南朝鮮僑友同盟

工學

安田善四郎

二個八學式を奉行した在學生開校一ヶ年を經過した新京工 第二回入學式

後職員會議を開き、及落决定 月謝滯納者に對する處分方法 など協議をなし午後八時四十 分散會した、なほ同學院全校 生徒數はこれで四百三十餘名 七學級に擴大された

相撲部で

トで、相撲部の納會は同日午七日午前九時から西公園コー っな試合で観楽も多数あり **催され、いづれも火の出るや硬一時から神社境内土俵で開** けふ納會試合



で、九月中における

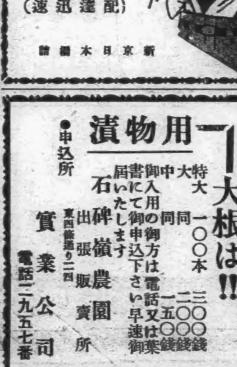
美

容

美

洗







大陸春公時 六日午後九時

軍用定期 運行時剩改正 運行時剩改正

都行する事を申合せて**利工を** 審議を打御り、七日も會議を 審議を打御り、七日も會議を

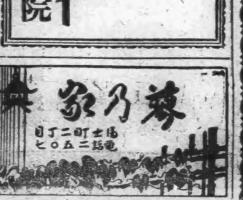
春の煙突の一部出

新 築落成





粧



0

市内運搬は一直扱の運搬は一直扱の運搬は一

電話三八七八番へ!! 丸正運送店

兒人 院長 副院長 女醫 新京梅ケ枝町三丁目(東二條通) 師女醫 博醫士學

辯護士

黑田實法律事效

滿洲國商標登錄

卸小賣

新設電話

四人新四百百

九右貨店

満洲丸



鑑定諸契約作成民事、刑事、訴訟、顧問

建具一式 庫 諸書類作成日滿鮮通譯 日滿民 刑事訴訟 顧問及鑑定貸家貨地管理 切叮嚀に廉價を主義として皆 設置して優秀なる技術者を以 用命に應じます

つて親 具部を

標の御

家具需要激増の折當木廠に家電話三一 大同大街三中井百貨店敷地前 大山木廠家具部

目種業營 洲應用化 世帶道具一式 和洋酒罐計類 食料品雜貨 御諸用官達廳 學研究所製品

電話 三二〇五 のホヤ mt 街





人 急功を組みて蹉 萬年筆 修販理売

西山萬年筆専門店 本日開始

松茸料理 同同同同概 類め井そう し ばん

製地

告!!

人院隨意

大阪商船出帜

專利兒

中央通三六番地 電話三三四二 春醫院 岩間志津

歌寫三笠町四ノ五

獨立を宣言

九年度産米出廻り期に同一数量を買入れるに速定した、附購し、免づ七、八年度産米百萬石を十月十六日入札實規整理質替に決定し六日米蒙統制委員會を開催して原案を政府では右抑制のため所有米中買替の要ある二百萬石を政府では右抑制のため所有米中買替の要ある二百萬石を政府では右抑制のため所有米中買替の要ある二百萬石を

米價昂騰抑制

所有米買替决定

が『東交側が努めて警官隊と の衝突を避けた鴛検束者を出 すに至らなかつた、信他の各 車庫の精勢は澁谷バス車庫で 三名の検束者を出したほかは る

でもない

れではな

映る三 機能を に 強を と 通い

ない おは

九百九十萬石

三項の護案を継續委員會に 油を作つてゐる帯散ます。 学識のあつた興業金融機隔 【東京関通】撫順に於いてオ

大士富石で
大きるで
大山富石で
大士富石で
大士富石で
大士富石で
大士富石で
大士富石で
大士富石で
大山富石で

本七年 「北平七日 砂川通」 茶定事件 では去る九月二日同 剛明 柚史 では去る九月二日同 剛明 柚史

執行さる

秦定事件正犯人

史燦棠死刑

無常を逮捕したが、六日朝 回人を正犯人として死刑に處 した、同人は江蘇省生れ曾て 北平大學法院にあつたもので 昨年東城の某新開社に勤め一 昨年東城の其新開社に勤め一

好結果を收め 全滿商議會議終る

=第二日の經過—

9

日八月十

股行所 新京日日新聞社 新京本展明日/一

| 「抗争は再ひその火蓋を切るに 上特筆大費すべき未曾有の大 上特筆大費すべき未曾有の大

人彈壓の方針

時に提来の方針を採った警視廠では午前四時早くも新援和及ひは午前四時早くも新援和及ひは午前四時早くも新援和及ひをとつたが兼職、三田、駒込をとつたが兼場を占領され警官隊とのの三電車へ庫は従業員は一歩もをとつたが兼職、三田、駒込をとつたが兼場を占領され警官隊とのの三電車へ庫は従業員の第一の三電車へ庫は従業員の第一の三電車へ庫は従来員の第一の一部を表現した。

半線が出來る。

大店員 二名入用

川投影所

美

援來給女人 スピーサるな朗明

刷電話五九二三

れま

キゥ

東二條通り置り 至急側何致します

のものそ惚恍だたり躍は血く若

葉紅のルーホ下上



電五八五三番

れま

八月中に於る

機関 110回1-0回1-70 同1-70 同1-70

全國に百ヶ

性病 敬胜下疳 入科外



ディ かり 新り 人が 質 高に の ッ

の口語だっ

(東京開通) 外務省ではアリーカー

警察官が飽く迄反對を構べ、 常任する事に對し現地關東歐 発任する事に對し現地關東歐

一元化する仙は現制度は何等

回の政革案は治安維持警察を してゐる如くみられるが、

外交機能を總動員

陸軍側觀測 誤解に基くと

雌は相當悪化して東た如く

察部に於ても部長は議兵司令の関際危局に當面した暗事務總員の下に置かれるは響(東京網匝)一九三五、變化されるものではなく行政

た順田外

相はその就任以

特派使節をして巡視せり

つて居り之

機會

一更 法 一を断行し鋭意

小林駐滿海軍司令官

的大計を強調する外相は豪時日本の新動向に闘する機

問題等の革新を聞ることとな

つた

中將に進級か

一月の定期異動で

加東底の飲情観察の結 関連)在鴻磯梯問題に

で で で で で で で で に は に 表現 を 聴き 正式に 決定 す ることに なつた

ると共に各地に於ける関東騰 兵司令官が警察部長を兼任す 兵司令官が警察部長を兼任す

れ憲兵制度が布がれると誤解

國際危局を前

-

闘東廳側の

具申書

内容

このまる抜任するに於てい、始めは核の深凹であつ

所にある旨を報告し、之 趣は悪化し、如何なる事

協議し午後八時

若し容れられざれば總辭職も辭せず 具申書を首相に送る

つたが一方敵府の方針に反して断乎現地支持の攀に出づるに至つた田中、「千上南大官、手代大多郎、官がくなる上は從來の凡ゆる面目問題を深く捨て去り慣重なる考慮を要する旨を述べ拓勝全員の最後的決意を述べる所ある以外に鑑なしとなし岡田強緩拓相に再考を謂ふ事に決定、七日坪上太官は岡田首相を訪問現地の急迫せる精勢を報告を聞き激乱せる関東國全職員を慰撫するは唯政府政革衆を現地の希望するが如く改正する。東京國通)拓務省首腦部は現地情勢延察に赴いた森軍企劃課長の顧朝を迎へて六日夜在鴻磯陽問題に闘する重要協議 に則づて開東廳現地案の強硬なる態度を絕對支持目的貫徹に向つて一路遭進者。同間首相に郵急した、かくて拓務省は從來の靜觀的立場を茲に一擲右具申書の所信各局課長以下全職員は總辭職の意を固め、直ちに具申書を作成面上悲痛の色を浮べつゝ一同之に する事となり成行重視さる

て日開會された

日午後六時より拓相官邸に高 た入田警務課長を迎へて 拓務高等官全体會議 との間に忌はしき かては警察官と軍 かては警察官と軍 所課長が八日午前首相並ひ をご弊上次官より開田首相 なるけれ共更に八田、森軍 あるけれ共更に八田、森軍

省は一体となってとも限らぬ故拓務

で自以上の全体會議を開き、

き更に第二段の劉策を協議

警察官の最も强硬 に反對してゐる憲 に反對してゐる憲 に決定八日午 れ以前に問題の解決を殴

競技が入日午前首相並び

專任拓相人選决定

問題解决後

(東京國通)専任拓相問題は臨時議會 の接近と共に早晚具体化するものと して人選に一般の視聽を集めてゐる が、岡田首相は關東廳問題解决迄は を を が、岡田首相は開東廳問題解決迄は の推薦其他研究會に求むべしとの運 動が起つてゐる の你護論被を本分とす

く陳情するため、高山新京署 高山新京署最、立川率天署であ今回の運動の貢意を力强 京に向ふ事となった 日午前九時設パトで大速設新に對し署長會談によつて決定 日午前九時設パトで大速設新

八時大要左の如き腳明書を鍛べに亘る協議の結果、七日午後に亘る協議の結果、七日午後

十年の歴史に巻し関かなり、 は民衆の保護誘掖にあり、之 を實行し得るもの我等警察官 をおいて他になき事闘京慰三 は我等警察官に於て之を行った期するにあり抑々警察行 吾人の主張は文治行政の確立

をおいて他になき事闘東國三 中年の歴史に摂じ関かなり、 殊に補別國の現狀に鑑みその 感深きものあり、國際聯盟脱 認の御詔勅にも「文武互にそ の職分に考順し」と宣はせら る、元來憲兵警察は軍事警察 をその存立の本旨とし、民衆

共榮の賞を要 賣四

慶朝するが近く世界の**學界に** 天然痘の病源體を愛見十四日

旅立つた見玉博士は獨逸留

回奏彰式は今月の十五日

準備の都合で十一月十五

店員表彰會

沙沙山工事部 學 製 造 部

各種材料部

公益商會支店

十一月に延期

上海派遣軍の 論功行賞 今週中發令 以内に家を媳却し人質を拉二千鵬を北大街の某所に特

修繕も御一根大第迅速に致します

一様大第見積に参上可仕候の

力的活動を開始するこ

目まぐるしい 字垣總督の上京で同

影米、佐藤駐佛爾大使に對し 表々任地より静朝命令を發す ると共に杉村駐伊、澤田駐白 爾大使に對しても闡進日本の 根本的研究を命じ、表る四日 杉村大使の赴任を機に近く在

、外務、拓務三省

事業職官にその後益には永野後身大將の親補が大体

経講施軍部司令官小林少將は中府に進級他に

数をなず筈であるが聯合艦職司令長官末次大將は軍 「東京関通」施軍では十一月中国定期新舊異動の設

貫鉄上に本脳の計費事業とし 陳者まる昭和九年九月廿八日 機耐線を御路災之訴案質候



新京市况 四萬九千

全滿警察署長會

所信を堂々ら

一聲明

決定事項を菱岩

并上普廟店署長 遊署長、**外下沼本**

副理事長

本國の一

て急遽赴日

クズネツオフ

のと解せられるに至つた 鏡塘江鐵橋

大連原合向

厭世自殺

か自殺かにつき調査を進めてを突刺して死んで属り、他殺

大連珠。

は何一つ所持してゐなかつた 誤實業部大臣と認めた中味の 張可葉部大臣と認めた中味の 張可葉部大臣と認めた中味の 特的販賣店 森川商店

対に所

源體を發見

大腿服服 大阪三品

寒さの御用意は ワイシャツ▼靴下、手袋 吉野町一丁

電土食料品店工具 大ル方保證人ヲ要シマス

ようこそ 米記者團昨日1 **瞬頭日滿出迎人で埋まる** ヤマト まずいに旅装を解り は

原野ミ思ひの外 豊饒な農耕 團長ロー

報課長、林鵬東軍新聞班長、 トホテルに旅装を解いた。 宮脇情報處長、筒井大使舘情 行は直に自動車を建らしセマ部総務司長、川崎宣化司長、 の華々しい賑ひを呈した、一部入りをした、課頭は朱外変 迎へフォームを埋めるばかり 内で七日ハトで晴れやかな置 在京各新聞通信記者圏多数出 ウエルメレット氏

された、軍用犬は列國に於いて奉行の側の協會敷地に於いて奉行に七日午前十時半から競馬場によいて奉行の下

光月二日全満で施行された第十三回無學檢定試驗支那語権 中で設定された、新京における受力を出る。 一個試驗宣格者は七日阿滿鐵社 を受力を由一合格者は大の通り を受力を開発を記憶を表現を 一等司法部艦務司文階科 を設定、財政部秋山敏治 を設定、財政部秋山敏治 を設定、財政部秋山敏治 を設定、財政部秋山敏治 を設定、財政部秋山敏治 を設定、財政部秋山敏治 を変更をある。 「一等司法部艦務司文階科 を表現で、 「一等司法部艦務司文階科 「一等司法部艦務司文階科 「一等司法部艦務司文階科 「一等司法部艦務司文階科」 合格者發表 事になつてあるが、中央銀行 於ては夫々歌迎の意を装する 於ては夫々歌迎の意を装する

谷安二新越 至 等 報 原 川 節 銀 夫

十七名・中尾テル、その他五十七名

大資縣に

又もペスト

日名うち商業在學生四 しの診断として市民を繋がした。 一次子、田中宗美代、面 一次子、田中宗美代、面 一次子、田中宗美代、面 一次子、田中宗美代、面 一次子、田中宗美代、面 一次子、田中宗美代、面 一次子、田中宗美代、面 一大連、法院、に、護・送 一次子、田中宗美代、面 一大連、法院、に、護・送 一大連、法院、に、護・送

チチ

ju

0

2病舎で日当りの見

北た機器博士安部機器氏は七 日音任、八日権がに来社 中銀の米記者圏 氏は七

安部氏來社 で成したので七日から を新築中であつたが ではしたので七日から では至れり養せりで なに依つた雑纂だけ では至れり養せりで

12

36

善生

一堂醫院

出来

事になってこ

る事

張所主任西蔵男殺物

不病院へ移轉

長は倫敦からの

國際 企業對國際 計算學學 けるの銀相場 11年2003

勝又の洋服好評 無数からの最新流行柄を を響て飲多竜の生地を では多竜の生地を では多竜の生地を

に強部に週附され新聞記事捐 最に亘つて審理銀行、去る九 最に亘つて審理銀行、去る九 り秋山司法領事來考、最後の 審理を行つた結果態よ存罪と 次定、十月一日を以て漢書を を大遠地方法院に週附するこ 館職祭署にて犯人收容後直

大院患者も相當教容は他別に虚者本意な 同店人員新潟縣 警会員二名と共に大連に護途農の身柄は五日夜酸列車で領 といなり、 一件書類と共に 回を御祈り致します ます去るに臨み皆様の御健 長馬幣剛は熊々私の為に御 来哈下され御診療を受け 相談の結果同氏の病院に入 院することにしまして入日 に対することにしまして入日 に対することにしまして入日 上御會ひ出來ることを樂

新京輸入組合削主席場配奈良 原安平氏は湊町病院に入院治 原安平氏は湊町病院に入院治 原安平氏は湊町病院に入院治 奈良原安平氏

「ハルビン関通」大 野城西 古れ防役に大震となつてある され防役に大震となつてある され防役に大震となつてある

田代前領事夫人 州海樂當時の長春領事、現 外務省情報第二課長由代重標 氏令閏千鶴十央人は東京牛込 原丘軒町十番畑の自邸で病氣 根豪中の處七日朝死去した旨 八日新京總領事館に通知があった享年三十四歳

0

快方に向ひけふ來京

歯の治療に奉天へ

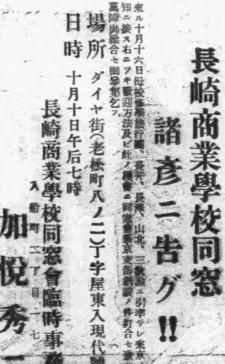
満蒙旅館に一泊の豫定

各位には何かにつけ非常な 御迷惑を相掛けたる上多人 の御精けと身に餘る衙賞置 を厚うし今更年ら御恩の厚 東ベルビンホ十字病院に於 東ベルビンホ十字病院に於 本ベルビンホ十字病院に於 で関ります、御路様にて経 過ば甚な良好で傷口契傷も 過ば甚な良好で傷口契傷も を不具者としてあきらめま がは彼氏が感きはまつて噛み はつてるとわがらない、あの はつてるとわがらない、あの と笑ふ、茶目したしいふ枝、一くさりうなひ終るとクスリ のあたまのかずり瓶、白と笑ふ、茶目な妓らしい かり、オヤと思つてふりかられ石の……朗々たる諸ひ

げてき去る

標である

在哈官民に



極寒零下今や近 愛見健康法第一課に曰く! 華洋行支店

を見の健康に最も必要なるは難眠なり此 を見の健康に最も必要な格証圏よりも がかく要心地よき『参華の初根ぶとんでい 新京百貨店羽根布團 電話五三十六

男は偽りぢやもの……と踊るは、この三月頃東京からと工氏でこの三月頃東京からと工氏でたつの小春のやらに情繁のかたつの小春のやらに情繁のかかしら、漂たる舞ひ姿、理性の勝つた女のやらに見へたが

良キ病院二人院只管治療ヲ織ケマシタガ追々ト氣候ニモ變化ヲ來シマスノデテ自宅ニテ靜養致シテ居リマシタガ結果面白カラス五月下旬開東州内ノ風光キマシタ事ヲ厚ク御禮ヲ申ヒマス然ル處本人去ル二月ヨリ過労衰弱ノ気以ニ長春村ヨリ新京ニ至ルマテ二十餘年間皆樣御指導御眷顧ノ下ニ在住サモテ載 快癒ト共二又《來京御懇情ノ下二餘生ヲ送リタイト存シマる回後共宣於 當分ノ間左記ニ客属シテ居リマス申上マス尚出發ノ際へ態々御見送リラ ニ寄寓部養シテ居リマス夫レデ私共家族モー應内地ニ婦リ看護ニ専念 一層郷里ノ南國ニ轉地療養ヲ續ケルコトニ致シ本月中旬ヨリ本人ハた記 御 載キ厚ク 御禮申上 产业元

同 十時四十分 外交部に 開 十一時十分 官邸に変 別名権大使訪問

不明となつたので捜査方を新年後大時ごろ要緒に行くと稱したまゝ時宅ゼず行方

感想を記者に語る

にて外交部主催の晩餐會に

電波子将事多門領担へ耐知カ 対ルこと機非スサエ(二八)の 同家女中利根野江(一八)の 関家女中利根野江(一八)の

特急あじあ

的婦と女中家出

六日午後七時三十分大連から 選行して来た特急あじあの機 調車は八日午前九時新京設大 連ゆきのはとを牽引して率天 まで選轉したが静車の腰機闘 の放陰で約三分遅れて設車 した

ロン

滿洲軍用大協會

藝妓ド

と石井銀治氏方抱器披三平こ梅ヶ枝町器披置家千代の席こ 式は丁交通部大臣、金新京市浦州軍用大協會新京支部領會

米記者

新京着の

想は」の

文教部チー

官公署對

抗リレー

△二、文教部 一、文教部 一、文教部 三、實業部 同 三點 一、文教部 三分四九秒一 同 五點 同 三點 後 局 同 三點 - 一、長政部 - 二九秒四 滿洲國惜敗 運動會

盛大に擧行

トで全新京各選手出場、本シーを全世最終試合で特に華々しく奉行された。

个陸上

南日本単生競技帯型では遠征 市子氏譯の東郷元静傳を需贈 でも事となった

づれる場所未定

て泊る補

門層に託して存けたる下型 致すのではないかと黒ひ裏 のではないかと黒ひ裏

日最終競技

ルドシリー

第三回戰

鐵道事務所 各個所對抗試合

類子生無順ラ式 ・ 大きない。
・ 大きな

タ 本立て 別な は、 スト は の の で か か で で か か で で か か で で か か で で か か で で か か で で か か で 一時半より ガー ス勝つ

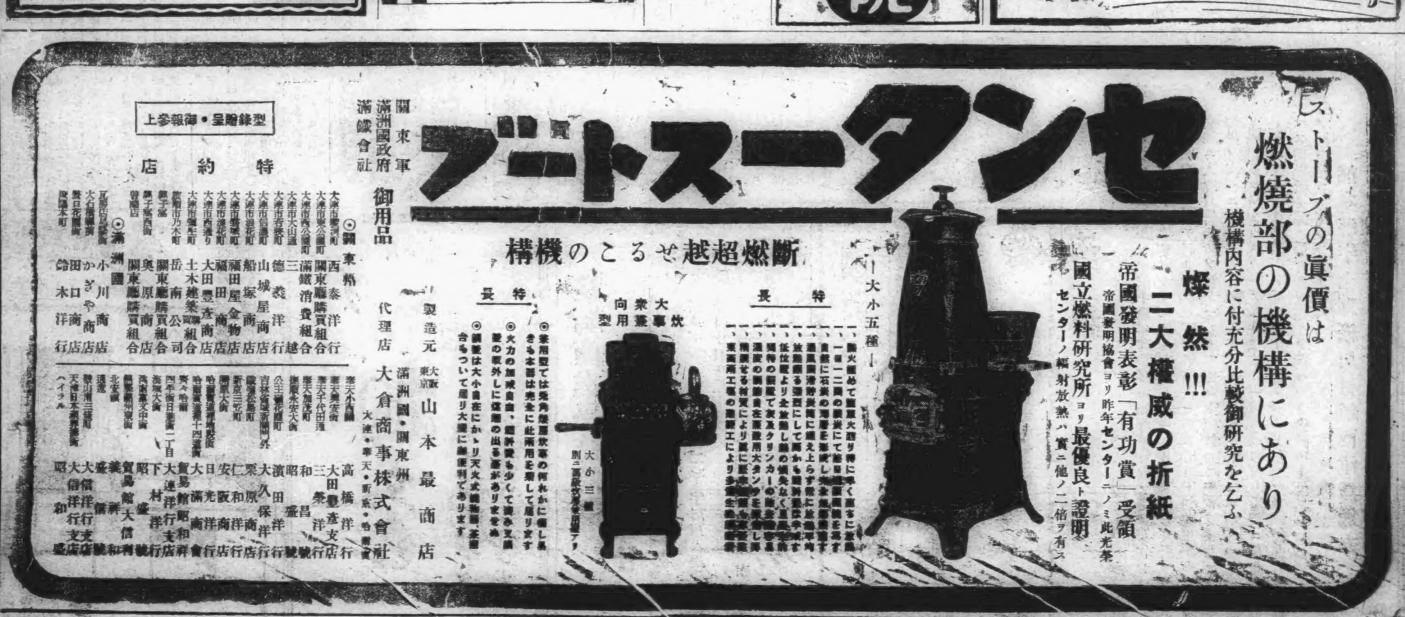
4人一1 四 数 2 イマントルイスと日 数 2 イマントルイスと日 数 2 に 数 3 に

ス勝つ

1-8

村 新開





は化悪の

利度 2米 余力 保護

負八共刊タ歌本 申申人 ※松 本 郷 本 郷 本 ※ 郷 本 ※ 郷 本 ※ 郷 本 ※ 郷 本 ※ 郷

機構問題の火手日比谷に 暗鬼を孕む臨時議會

(東京國通)在滿機構の改革問題は官制案も成り之に伴ふ幾算を編成し、來る臨時議會に提案する段取りとなつたが、開東廳の反對は依然情を詳細に調査の上臨時議會に於ては平均、本る臨時議會に提案する段取りとなつたが、開東廳の反對は依然情を詳細に調査の上臨時議會に於ては平均、本。由時議會に提案する段取りとなったが、開東廳の反對論を がでは現地の反對運動が益々悪化しつゝある現状に鑑み議會までに實 がでは現地の反對運動が益々悪化しつゝある現状に鑑み議會までに實 を相の責任を追及せんとしてゐるので成行如何は各方面から注目され を相の責任を追及せんとしてゐるので成行如何は各方面から注目され である。

森重八田兩課長招相訪問 現地の事情を説 善處せと ある 続用バルブの激増が目立つて

佛艦砲擊

駐土大使抗

檢討)

と會見坪上次官も列席し輩ね の事情を詳細に亘り説明し現 地の事情要望に鑑み在務機構 地の事情要望に鑑み在務機構 要望したが、岡田首相、河田 響記官長は政府案の内容を設 響記官長は政府案の内容を設 の内容を設 で独を行つた

かて 関東継に赴き詳さに 標を調査して 野家し 大日午前十時半首 は八日午前十時半首 は八日午前十時半首

は、然的にパルブの需要を激者して たるるので日本のパルブを響けて需要の調節を 全能力を舉げて需要の調節を では 全能力を要けて需要の調節を が、最近に於ける パルブの職入数量は激者の一 流を辿つてゐるが、最近に於ける 大数量は十三萬七千キロに達 人数量は十三萬七千キロに達 し之を前年同期に比較すれば を派したと四割四分一順の原始 格に於て四割四分一順の原始 を派してゐる、而して特に人

硫大な出迎へをうけ

【イースタンプール酸園通】 一隻のフランス線を整か七日 ギリシャ防間後スミルナ灣内 を航行中トルコ砲豪より砲撃 を受けたので直もに砲火を変 したが右につきフランス大使 近く登廳

英國產業視察團 十日新京着

皇帝陛下にも謁見の豫定

酸、安東經由赴日

0

其他の日程も決る 日本生れ

親日家

今大来滿の英國産業製寮園一 ピゴット氏は現在英國鐵鋼輸 ピゴット氏は現在英國鐵鋼輸

ハ市を永遠 に救ふ

堤計畫

經費三

百萬圓で結氷前に着工

|水前に着工三ヶ年||液焼倉装に鉱む帯||

、公はピゴット第二世の 研親とは非常に親しい間 に対しい間 に対しい間

命ずの有公署民政総勤務を給入級律 奥安院分省公帰理事官

を舞つた

與安商分省公署秘書官 與安東分省公署視學 映信せる米国民の英

取扱、勢力晴負、倉庫、金融、 三鵬柳スル業務一般 断京富士町二丁目二十 國際運輸縣試新京支店

話電表代内所獲率 運需穩金倉保庶店

三〇五九、五八八八仲 過三〇五九、五八八八仲 過二四八五、二六六五列 薫二六六五列 薫

器 廻らぬ舌に無量のおもひ 有難う 村上氏來る

與安西分省公署理事官

安西分省公署織務職勤務を入級俸

生 特別演習画体報観者へ来る十月十三、十四日舉行せらるゝ陸軍特別演習には鹽健性上の學生團體に限り拜襲を許可せらるゝ陸軍特別演習には鹽健性十日窓に軍政部總務課へ屆出られたし

に付拝観希望の向は機能族

個體名人員指揮者氏名を十を有する個體及中等単校以

同 **外海道爾吉 米海道爾吉**

大家第第

經營

公場民政職動務を

谷次長を設 **虔の念期せず驛頭を膨す** 設された饒河縣副参漸故藤吉 群頭の荷士氏) 日午前九時穀鳩で泰天へ出穀 清治、開縣副参事故島仁男三 日午前九時穀鳩で泰天へ出穀 清治、開縣副参事故島仁男三 大の位牌が来京直ちに説町四 本願寺に安置されたへ寫眞は

(九)末男政吉(六)長女ヨシ子列車でシヅヨ夫 人、長 男機

村上衆太郎氏は奉天で治北痛の野に見事咲匂ふた

あつた、まづ頭を牛バックに委員職長を始め多數出迎へが

ったか!よくや この度は色々有

で語るで語る の通り元氣でおりますし傷した、お蔭さまで宅もご覧

今後の方針は 夫が全快の上 シヅョ夫人語る

興安北分省公署理事官

新

貨

婦產小內

電話三一七一番

NITT

本日から左記新築病院に移ります從前通り一般診療に應べ

廣

告

京錦町三丁目 大

吉野

町三丁

目

御大典記念館

與安北分省公署理事官 接克 古 興安北分省公署總務驅動務を給八級俸 安北分省公署總務廳勤務を九級俸 與安北分省公署理事官 日本新聞記者協會 敷設間場

金備取所

新發屯清和街

六十九圓)前家

賃

東亞與業株式會社新京出張所別市新發屯清和街第一〇一號 醫學博士 冲

新京特

王野

電話五六八九番

日本橋通二〇和登洋行裏

長、寺田大連署

問題の穀腰如何にと聞られる。

合勢揃ひして馴東軍に参刈長 官、西尾参謀長、岡村副長を 言、西尾参謀長、岡村副長を さ代表來京の報をうけた新京 居舎代表來京の報をうけた新京

陸軍側は

強硬に主張

首相板挾みの苦境

で決定した通りをあくまで主 で決定した通りをあくまで主 で決定した通りをあくまで主

建國精神にそむく

國民の慰撫に躍氣

でるととろあり、数日に宜る は満洲國側に於て大体左の如 は満洲國側に於て大体左の如 とで、動は能伝城農事試験 とで、動は能伝城農事試験 あり細目のところは新京に到 あり細目のところは新京に到

日本のパルプ

となってある。

努力を挑ふ 山本少将語る

知

(日)

諸洲國最初の陸軍大演習は島 日公主量を中心に火蓋が切ら れるが、満洲國軍警方面では 各地より選拔きの警官を召集 事になり、七日午前チチハル 警察廳より韓警正以下九十九 を3、午後にはハルビン警察廳 より中村警正以下九十九

日 り且つ模範税損局官吏の正規 日 り且つ模範税損局官吏の正規 任命を行ふことになつた、な

古林木 古林木 吉林木

(=)

に謝大臣を、同十一時廿分にして鮮去同四十分外國務總避大臣を訪ひ會見

會に臨めだ 酸外交都大臣主催の歓迎晩餐

都合で 収止めとなった 都合で 収止めとなった

演習警戒に

態接警官續々來京

警備の萬全を期す

局敷は左の如くである

本 五〇 (二三十) 三五 (一美) 三五 (一美) 三五 (一美) 一六 (文正前一五 克山 級化

日曜

ピューロー驛主催で 四盛海

舊税關吏員の

博克圖附近に

隊出沒說

可税稅佐技士(委任) 義人村上氏

大学大郎氏表彰金の内へ密附上条太郎氏表彰金の内へ密附上をしと字野窓家屯輝長からのの職金金五国を本社に寄託して来たので取文ぎを了した 育から寄附

寧安、佐闢、魯安隆、撫松、1 ・ 東原に之等の職員

では大同二年度に終て ・ 一年では大同二年度に終て ・ 一年では大同二年度に終て

日歸りて龍潭山紅葉狩

改正森林事務所官制

型生の最加を目論んである 型生の最加を目論んである。 一言萬國を有效に活用、留日 では國際事件賠償額の では國際事件賠償額の であるが、一部對案とし

領事館署管內

血大な歸順式を擧行

某々匪首の歸順競得に成功

で大日午後四時着列車で幕僚 し黒龍王は午後六時より城内 龍海樓に四海以下を慰待し虚 大な慰辱の宴を設け其の勞を 大な慰辱の宴を設け其の勞を オを招待し慰勞宴を催し **越舎** 断京饗馬倶樂部主催の本年費 賽馬クラブ設宴

富士町乙丁目新京亦デ

第六回戰 1ルドショーズ

必勝を捌す タイガー

ハ烈士遭難地

漸く發見さる

ペセントルイス七日發劇通) イガースの手にかなイガース ルドに立てるものと観られて は再びデトロイトに歸つてタ に必勝を期して再び至實投手 は必勝を期して再び至實投手 は必勝を期して再び至實投手 なとなる譯である ととなる譯である ととなる譯である となる。メイガース がは試合に となる。

第三回本社主催煖房展

曾場は南廣場

三三〇〇番塩詳細時合せ申込まれたい

拳銃二挺所持の

年の者と何事が創策すべく入 株の者と何事が創策すべく入 が、 が、 が、 が、 が、 が、 である事判明、更 の、 に先較の歳高等検察應長の人

期打畫すべく俄然緊張各方面 無兵職では今朝來逋潔者を一 無兵職では今朝來逋潔者を一

出品申込は電三三〇〇番へ

通り八十一番地ノ六中島方立原三六氏(茨城縣)朝日 添り四十九番地鹽澤方へ 吉田定吉氏 (福岡縣) 大和 居住消息

お前にて特別警戒についてる た吉林憲兵分職員の跨見する ところとなり逮捕取調べたと ころ實彈を装填せる拳銃二挺 を所持し居るを設見し直ちに 分職に連行、戦電取調べたと を所持し居るを設見し直ちに 果先股來吉林省城を再三襲撃

佐れば大王講金鑛採鑛所警備 【奉天國通】鐵路總局入電に

警備口人

匪團に襲はる

大王溝金鑛

本澤野正治氏(平安町一丁目十一番地)三男英造さん二十十八日出生 本石川新一郎氏(吉町町一丁目十二番地)三男英独さん 二十八日出生 本高地)三男英造さん二十 一番地)三男英造さん二十 一番地)三男英造さん二十

本田上政雄氏 (他所不定) 七日午前四時死亡 日午前四時死亡 小香地土緒方) 七日午前七 等五十分死亡 十九谷地〉七日午後四時死

▶目品業營◆

モビールグリース

油

具展

良品を揃へて實物實際

に供し自由御選定願ます燃料經濟化の發明優良品 00番へ申込を乞ふ

(ハルピン國通)九月十七日營口號二回目の遺難の際身に兇彈を受け怨みを吞島仁男氏の屍体は去る五日遺離地點たる泰得利附近の島に見る影もなく無後る泰得利附近の島に見る影もなく無後の一個人のルピン國通)九月十七日營口號二回

より發見され

五日「月曜」 三日間

日時

回三第

新京日日

萬年筆

全支學生の 學年守備除擊退

修販理売

美味一

いものあ

佐藤鐵太郎上等兵が名誉の 職より田邊特務曹忌

を 医山萬年筆専門店 医山萬年筆専門店

奉書なべ

御一人前

五

圓

名物

人氣料理 割烹新京の

女中さん入用 +

希望の 新發电白衛町五丁目二八三六 滿電八又終點左陰 方本 人來談後

が一門田田田の母 產 一報大第多上 米樂町三丁目一大 内山で 2

車軸曲 建築用油 油 油 降泰公司商事 新京吉野町一丁目二番地 部

電話二二四六番 WATER STREET